

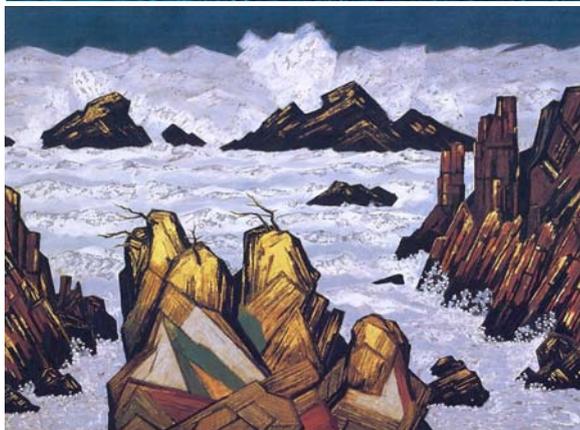
三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2011. 5.16

No.1995
No.37



出席率	会員49名中35名
先々週の出席率	86.36%
先週の	5/10 三条北R Cへ 西巻克郎君 野島廣一郎君 吉井正孝君
メークアップ	5/12 三条東R Cへ 荒澤威彦君 飯山勝義君 丸山徹夫君 野島廣一郎君 坪井正康君



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
大溪 秀夫

皆さん、こんにちは。

昨日は、三条まつりでした。天候にも恵まれ、暖かく、“祭日和”であったと思います。“お祭り”というのは、いくつになっても、それなりに感じるところがあり、それだからこそ、何年も受継がれていくものと思います。

震災関係では、政府は福島第一原発の1号機でメルトダウン（全炉心溶解）が起き、原子炉圧力容器の底に穴が開いているとの認識を表明しました。これで、事故の収束に向けての工程表も見直しを余儀なくされ、まだまだ時間がかかりそうです。三条市内には、現在も500人弱の人達が避難されていますが、そのうち小学生～高校生は67人います。これら避難している子供達への支援について、三条市の市民窓口課に問い合わせたところ、デジカメとノートの依頼がありましたので、早速、義援金BOXを活用し、対応させていただきました。いろいろ厳しい状況におかれている子供達にとって、将来この経験がどう生かされるかは、親は勿論のこと、周りの大人達の接し方が大事だと思っております。

本日は、「宇宙」について、『Newton』別冊を参考に述べてみたいと思います。

今からおよそ137億年前に、私達の宇宙は、無の状態から誕生したと考えられています。1940年代の後半以降、宇宙は、「ビッグバン（The Big Bang）」という「火の玉状態」から始まったと言われてきました。〔ビッグバンモデル〕

この頃の宇宙は、超音速であったので、原子（電子と原子核からなる）も原子核（陽子と中性子からなる）もバラバラで、電子や陽子、中性子が自由に空間を飛び交っていました。これが火の玉状態です。宇宙は、その後も膨張し続け、現在の広大な宇宙になり、現在も膨張を続けています。しかし、1980年代になると、ビッグバンには前があったと考えられるようになりました。それが、宇宙の超急膨張「インフレーション（Inflation）」

四つのテスト

言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
第4分区AG 葦澤喜一郎 [三条南]
会長 大溪 秀夫
幹事 野崎 正明
S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

の時代です。目の前の空間の膨張速度が光速を超えるといえますから、想像を絶します。

理論モデルによって、この膨張の程度の予測は何桁も異なりますが、敢えて大雑把に言えば、砂粒が一瞬にして数 100 億光年の大きさほど（観測できる宇宙の大きさ程度）にまで膨れる凄まじい膨張と言えます。しかし、ここでいう「一瞬」とは、1 秒の 100 億分の 1 の 100 億分の 1 以下といった超短時間でありませぬ！ インフレーションが終了すると、大量の物質と光が生み出され、宇宙は灼熱の火の玉となります。これが、ビッグバンであります。ビッグバンとインフレーションの語感からすると、ビッグバンの方が激しい膨張という印象を持つかもしれませんが、そうではなく、インフレーション期の膨張は圧倒的で、ビッグバン以降の膨張速度とは比較にならないほどの超急膨張なのです。宇宙初期にインフレーションが起きたと考えることで、例えば「宇宙に無数に存在する銀河がどうやって形成されたのか」などが、うまく説明できるのであります。

では、宇宙最初の 1 秒間をまとめてみます。

大きさに限界（ 10^{-33}cm ）があるように、時間にも限界があり、宇宙誕生から 10^{-43} 秒がこれにあたります。これをプランク時代といいます。このプランク時代を解き明かすには新しい理論が必要で、その有力候補が、「超ひも理論」です。現在、理論の確立を目指して研究が進められています。

プランク時代ののち、 10^{-36} 秒後～ 10^{-34} 秒後

→インフレーション：誕生直後に起きた宇宙の凄まじい急膨張、一瞬の間に宇宙の大きさが 10^{-26}cm から 100m に巨大化しました。

10^{-27} 秒後

→ビッグバンの始まり：物資の元となる素粒子が誕生し、この素粒子が激しく飛び交ったため、宇宙は灼熱状態になりました。一般に「膨張する超高温の初期宇宙」をビッグバン宇宙と呼びます。

10^{-10} 秒後

→素粒子は、粒子と反粒子のペアで誕生し、衝突して消滅しますが、粒子がわずかに多く（10 億個に 1 個の割合）、この為、反粒子は 4 秒後までに消滅します。

10^{-5} 秒後（10 万分の 1 秒後）

→クォーク（素粒子）が 3 個結びつき、陽子と中性子が誕生。

1 秒後

→宇宙にあったのは、陽子、中性子、電子、陽電子（4 秒後には消えてなくなる）です。

こうして、1 秒という短時間で宇宙の材料がつくられました。また、3 分後には陽子と中性子 2 個ずつからなるヘリウム原子核ができ、陽子はそのままで、水素の原子核になりました。そして、38 万年後に原子核に電子がとらえられ、水素原子やヘリウム原子ができていきます。この出来事は「宇宙の晴れ上がり」と呼ばれています。また、この時の宇宙の大きさは現在の 1000 分の 1 であります。

また、この時にはまだ星や銀河はありませんでした。では、最初の星はいつできたのでしょうか？

2008 年にコンピューターシミュレーションによって再現されましたが、シミュレーションではまず、「ダークマター」という物質がたくさん集まった場所ができ、このもとに水素やヘリウムのガスが集まって、濃密なガスの塊になります。そして、宇宙誕生から約 3 億年後にガスの塊は急速に質量を増やし、中心部に「核融合反応」が始まり、様々な原子を合成し明るく輝き出します。これが宇宙で最初に生まれた星「ファーストスター」であります。原子が誕生してからの数億年間、真っ暗だった宇宙に最初の明かりがともった瞬間でありました。

以上、「宇宙」はどうやって誕生したのか」という、人類永遠の難問に、最新物理学が挑んでいる一部を紹介しました。

幹事報告



野崎 正明 幹事

■東山ガバナー事務所より 東日本大震災に対する義援金の報告と御礼

① 2560 地区ガバナー事務所に送金いただいた現況について

義援金総額 24,659,797 円（5/10 現在）

⇒日本ガバナー会へ 第 1 回送金 4 月 7 日 10,000,000 円

// 第 2 回送金 5 月 20 日 10,000,000 円

// 第 3 回送金予定 6 月 20 日

② 日本ガバナー会に寄せられた義援金の集計報告と支援方法（中間報告）

義援金総額 780,971,017 円（5/ 2 現在）

支援方針 1) 災害遺児の教育環境支援プログラム…中学、高校、大学、専門学校生への奨学金支援

2) ファイブ・フォー・ワン・クラブプログラム

…非被災 5 クラブが 1 つのグループを作り、被災 1 クラブを物心両面で支える
プログラムの展開

上記を 2 本柱として鋭意検討を進める

■2011～12 年度ロータリー手帳が届いています。ご希望の方は事務局へ

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 5月16日 21,000円
今年度累計 626,000円

坂本君 過日は父の葬儀に会長、幹事始め大勢の皆様よりご会葬賜わり、有難うございました。厚くお礼申し上げます。

大溪君 昨日は三条祭りでした。祭りは何歳になっても良いものと思います。

野崎君 渡邊先生、本日は卓話、よろしくお願ひ致します。

渡邊(久)君 本日、卓話です。お聞き苦しい点はご容赦下さい。

鈴木(囀)君 ①本日の卓話、渡邊先生ご苦勞様です。②晴天に恵まれて、三条祭、無事終わりました。

西巻君 ①渡邊先生、卓話ご苦勞様です。②八幡宮春季大祭(宵宮・大名行列) 大勢の人で賑わいのうち無事終わりました。祭典委員長の馬場さん、お疲れ様でした。

葺澤君 ①三条八幡宮大祭の関係の皆様さん、ご苦勞様でした。②渡邊先生、卓話楽しみにしています。

佐藤(秀)君 渡邊さん、卓話ご苦勞様です。BOXに協力致します。

佐藤(嘉)君、田中君、銅冶君、BOXに協力致します。

熊倉君 BOXにご協力、有難うございました。

Speech



卓話

「予防接種・・・最近の事情」

渡邊 久晃 会員



本日は、子どもの予防接種の最近の事情についてお話しします。

そもそも、予防接種は、免疫をつけて病気にならないようにしたり、妊娠前の女性に行って、先天異常や早産を起こさないようにするためです。

予防接種は、定期的に行うものと任意で行うものがあります。定期的なものは、三種混合ワクチン、ポリオ、MR、日本脳炎、BCG、インフルエンザ、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン 等があります。任意のものとしては、流行性耳下腺、水痘、B型肝炎、ワイル病などがあります。その他、母子感染予防事業によるB型肝炎、海外渡航に必要な黄熱、狂犬病などが分類されています。

ところで、我国に於いて、各予防接種がスムーズに実施されているかということ、いろいろな問題があります。経済大国といえども予防接種については後進国となっています。海外で承認されているものが日本では未承認だったり、公的負担で接種出来なかったりしています。それは、健康被害による訴訟が多く、副作用への強い抵抗感、日本独自の審査基準などがあって、すんなりと行かない所があります。

ヒブワクチンは、米国では20年も前から、肺炎球菌ワクチンとパピローマウィルスワクチンは9年前から承認され、実施されている状態ですが、日本では昨年より漸く承認されるようになりました。また、毎冬に流行するインフルエンザワクチンも副反応が心配されていましたが、最近予防効果が認められ、近々に定期予防接種となることでしょう。

このように、多数のワクチンが承認され、実行されるようになると、子どもの通院回数が増える結果となり、親の負担が重くなって参ります。そこで最近では、今まで特別な場合以外やってはいけなかった同時接種が行われるようになり、副作用、ワクチン間の干渉などの問題も無いということで実施されました。外国では以前から行われて、組合せも状況によりいろいろで良いということになっています。このような状況ですから、多価、混合ワクチンが開発されて、三種類も回種類のワクチンが同時に行われるようになるでしょう。

個々について変わった点をお話しします。

- 1) MR ワクチン：以前は幼児1回の接種でよかったのですが、自然感染がなくなり、免疫力が落ちて来ることが分かり、2回の接種が2008年より実施されるようになりました。
- 2) 日本脳炎：コガタアカイ工蚊に刺されると脳炎を起こす病気。最近では西日本に数例診られる程度で、東南アジアではかなり流行しています。2005年マウス脳より作られたワクチンの接種で急性散在性脊髄炎が発症した症例が裁判で敗訴したため中止となりましたが、2010年、乾燥細胞培養ワクチンが開発され、副作用の少ないワクチンが接種されるようになりました。

- 3) **ポリオ**：小児麻痺ワクチンで、10 年位前、ロータリー会員の皆さんからご協力いただき、ポリオプラス運動で世界の子供も達が大勢助けられたことでしょう。日本では生ワクチンが経口的に投与されていますが弱く疾病にかけるため、中には小児麻痺にかかる子どもが出るので問題があります。外国では不活化ワクチンの注射を行っている例が多いようですが、日本もやがてはそうなるでしょう。
- 4) **肺炎球菌ワクチンとヒブワクチン**：肺炎球菌とインフルエンザ菌、共に感染しますと肺炎や脳炎、中耳炎などになりやすい。従って乳児期の早い時期に接種することで感染症を避けようとのねらいです。両者は生後 1 ヶ年の間に 4 回、計 8 回の接種を行い、乳児への苦痛及び頻回の通院が問題となり、同時接種が推奨され、本年 2 月より開始。ところが間もなく、西日本及び横浜で 6 件の死亡事故が起こり、皆さんもニュース等でご存知と思いますが一時中止されました。予防接種の直接の原因ではないと結論付けられ再開されています。
- 5) **水痘ワクチン**：全身に発疹が出来るもので、現在は任意接種です。米国では定期接種が 2 回行われていますが、日本では未だです。带状疱疹の予防のために 60 歳以上の老人に接種することが考えられています。

以上、予防接種について最近の動きをお話したわけですが、接種することにより感染症が予防出来ますので、ご家族の皆さん方も積極的に接種を勧めることを望みます。

ROTARY NEWS



国際ロータリーニュース

2011 年 5 月 19 日

日本人奨学生がパリ郊外で被災者支援コンサート

「2011 年 3 月 11 日」— 東日本を襲った大震災のこの日にちを、日本国民は忘れることはないでしょう。日本から遠く離れたパリに住む私たち海外在住の日本人にとって、テレビやインターネットで見る震災直後の祖国の変わり果てたイメージは、あまりにも衝撃で心に深く傷跡を残すものでした。こう語るのは、現在、ロータリー国際親善奨学生としてパリに留学中の日本人、大久保美紀さん(京都中ロータリークラブより推薦)です。



聴衆だったあるフランス人は「とてもレベルの高い素晴らしい演奏会だった」と感想を述べました。

震災の数日後、被災者支援のための募金コンサートの企画を思い立った大久保さんは、自身の受入クラブであるムードンロータリークラブ(フランス)に協力を求めました。クラブ会長のクロード・ヴェルサイユさんと幹事の Катリーヌ・ムノーさんは、このコンサートへの支援を快諾しました。「コンサートの企画に協力することをクラブが決めたのは、勇気をもって復興の努力をしている日本の方々に対する尊敬と支援の気持ちを示したからだけではなく、一人の若き奨学生を通じて日本とその文化について多くを発見できたからです」とムノーさん。「(ロータリー日本地震災害復興基金の)資金は、世界中のクラブが日本でマッチング・グラントのプロジェクトを実施するために活用できるものです。私たちも、マッチング・グラントのプロジェクトで協力できる日本のクラブを探しているところです」ムードンクラブの協力の下、地域社会内でポスターの掲示や広告の配布を行ったほか、クラブのウェブサイトや、大久保さん自身のウェブサイト、そしてムードン市役所のウェブサイトでも宣伝し、集客を呼びかけました。また、演奏会前日には、パリで購読者数トップを誇る新聞、「Le Parisien」紙にも取り上げられました。

コンサート当日の 4 月 29 日、大久保さん自身が所属するソルボンヌオーケストラとホルンアンサンブルのメンバーが、ムードンにあるノートルダム教会で演奏し、美しい音色で聴衆を魅了しました。さらに、地元のコーラスグループ「Chic Chic」も参加したことで、地元住民の客足がさらに伸びました。

入場無料で開催されたコンサートには、およそ 150 人(演奏家を除く)が来場し、多くの人々が被災者支援のために義援金を寄せ、当日のみで 2000 ユーロ(約 2,800 米ドル)を募金しました。さらに、ムードンロータリークラブが 1,500 ユーロ(約 2,200 ドル)を追加で寄付したことにより、このコンサートによる募金総額は 3,500 ユーロ(約 5,000 ドル)にも上りました。集められた義援金は、2011 年ロータリー日本地震災害復興基金に寄付されます。被災地復興および日本経済全体の復興のためにこの義援金が役立てられることを、大久保さんは期待しています。

「私のようなまだ経験の乏しい学生が外国でこのような催し物を企画し実行できたのも、ロータリアンの皆さんの経験豊富で卓越した行動力、そして人徳から築かれた人脈があったおかげです。ムードンクラブ、そして出演してくださった音楽家の皆さんに、本当に感謝しています」と大久保さん。「今回のコンサートは、世界中で多くの人によって実現されているチャリティー活動やボランティア活動のひとつにすぎません。今も、困難な状況から立ち上がろうとしている方々がいるでしょう。協力する心を大切に、長い目で、しっかりとした足取りで、一日も早い復興を願い、努力を続けていきましょう」

表紙について

山本 丘人やまもと きゅうじん (東京都出身)1900—1986

■「北 瀟」 1955(昭和 30)年作

東京国立近代美術館蔵

ロータリーの友 1995 年 2 月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2011. 5.16

No.1995 No.37